



ぎふ清流都市対抗駅伝競走大会 代表選抜 羽島郡小学生選考会

6月20日、ぎふ清流都市対抗駅伝競走大会に出場する小学生代表選手の選考会を、笠松みなと公園で行いました。郡内6小学校の代表(男子12人、女子10人)が、最後まで精一杯走り抜きました。

駅伝競走大会は、10月17日(日)午前9時30分スタートの予定です(岐阜メモリアルセンター長良川競技場発着)。



羽島市と消防応援協定を締結

7月1日、羽島郡広域連合は羽島市と「屈折はしご付消防自動車の運用委託に係る消防応援協定」を締結しました。この協定により、羽島市内の高層建物で火災が発生した際に羽島郡広域連合所有のはしご付消防自動車が消火活動に協力することが約束されました。

また、大規模火災時には相互に応援を要請できる体制を整えており、一市二町は力を合わせて地域の防災力向上に努めていきます。



「社会を明るくする運動」伝達式



岐阜工業高等学校に啓発グッズ贈呈

犯罪や非行のない安全・安心な暮らしを目指して

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、「社会を明るくする運動強調月間」です。毎年行っている街頭啓発活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年引き続き今年も中止となりました。

しかし、地域の皆さんに次世代を担う青少年の非行・被害防止と保護の徹底を図るため、横断幕や啓発旗を役場・名鉄笠松駅・笠松中央公民館に設置しました。

7月9日には「社会を明るくする運動」の伝達式が役場で行われ、犯罪や非行のない社会づくりについて国民と県民に理解と協力を求める内閣総理大臣メッセージと知事メッセージが羽島保護区保護司会代表より町長へ伝達されました。

また、今回初の試みとして、笠松町青少年育成町民会議と保護司会より岐阜工業高等学校へ啓発グッズを贈呈しました。生徒会とMSリーダーズは、この啓発グッズを用いて夏休み前に全校生徒へ啓発を行い、地域社会の連携が希薄になりつつある今日において、非行・被害防止の理解と認識を深める良い機会となりました。